

資料2 福祉除雪事業の現状及び持続可能な事業としていくための観点について

令和6年（2024年）3月26日 札幌市保健福祉局

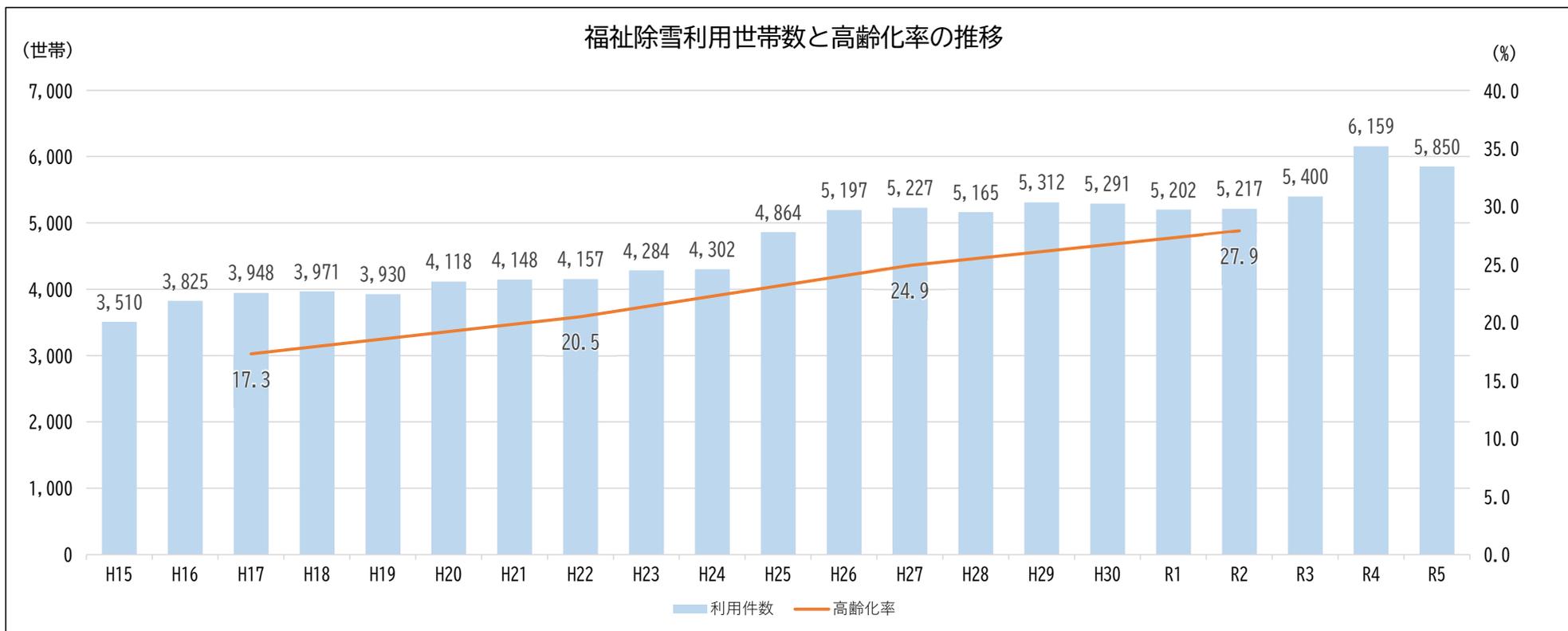
(1) 利用世帯数並びに高齢化率の推移

平成15年度以降、高齢化率の増加に併せて、福祉除雪事業の利用世帯数は増加している。令和4年度には前年度の大雪の影響もあり利用世帯数が急増したが、令和5年度は平年並みの伸び方に戻っている。（利用世帯過年度平均伸び率：103.1%）

| | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 高齢化率 | - | - | 17.3% | - | - | - | - | 20.5% | - | - | - | - | 24.9% |
| 利用件数 | 3,510世帯 | 3,825世帯 | 3,948世帯 | 3,971世帯 | 3,930世帯 | 4,118世帯 | 4,148世帯 | 4,157世帯 | 4,284世帯 | 4,302世帯 | 4,864世帯 | 5,197世帯 | 5,227世帯 |

| | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 高齢化率 | - | - | - | - | 27.9% | - | - | - |
| 利用件数 | 5,165世帯 | 5,312世帯 | 5,291世帯 | 5,202世帯 | 5,217世帯 | 5,400世帯 | 6,159世帯 | 5,850世帯 |

※高齢化率は国勢調査の数値をもとに算出しているため5年おき。
※令和5年度の利用件数は令和6年3月8日時点の数値

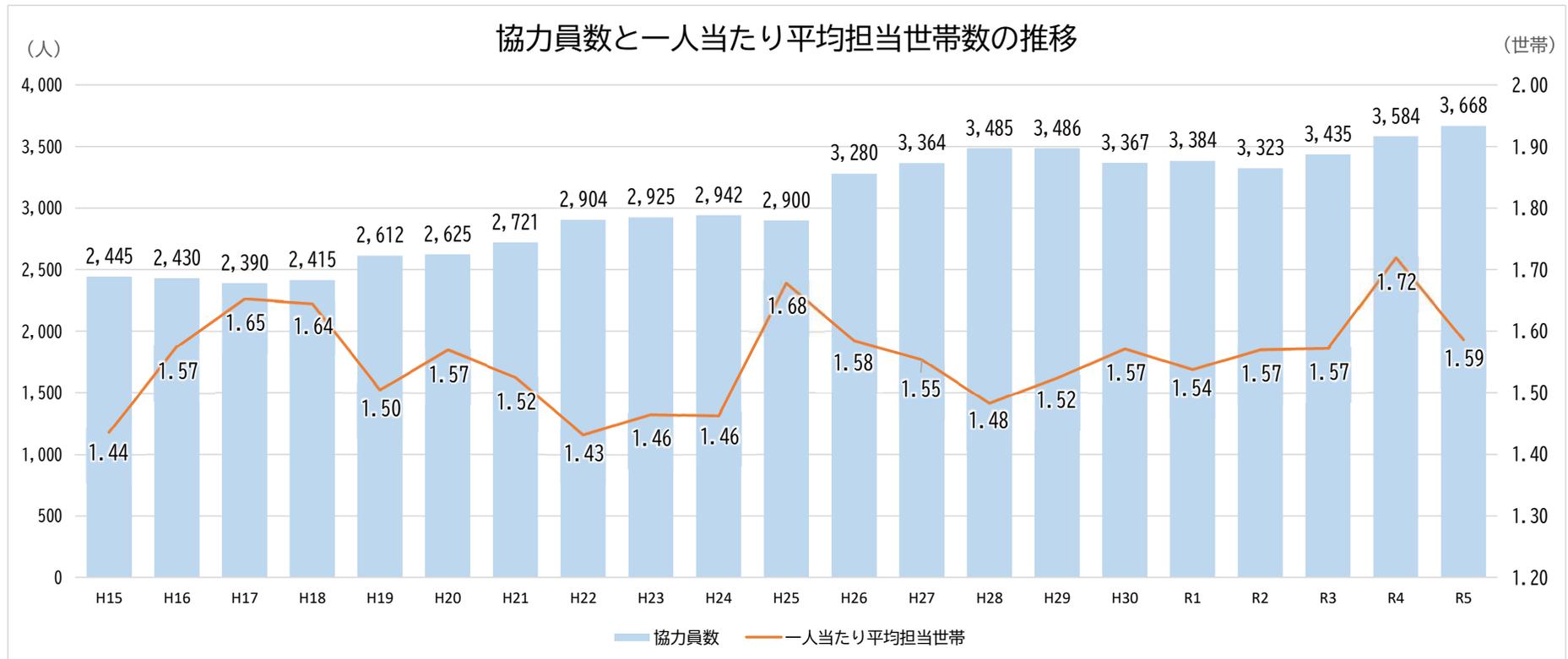


(2) 協力員数及び一人当たり平均担当世帯数の推移

協力員数については平成15年以降徐々に増加し続けていたものの、平成28年以降、増加幅が緩やかになっている状況であったが、令和4年度の利用申込の増加に対応すべく、広報の充実等の協力員確保策〔参考資料1〕を行ったことにより、令和4年以降協力員数の増加幅は再び伸びている。

協力員一人当たりの平均担当世帯数（利用世帯数÷協力員数）については、1.4～1.6世帯程度で推移しており、令和4年度には1.72世帯まで上昇したものの、令和5年度には再び1.59世帯となっている。

| | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 協力員数 | 2,445人 | 2,430人 | 2,390人 | 2,415人 | 2,612人 | 2,625人 | 2,721人 | 2,904人 | 2,925人 | 2,942人 | 2,900人 | 3,280人 | 3,364人 |
| 一人当たり平均担当世帯数 | 1.44人 | 1.57人 | 1.65人 | 1.64人 | 1.50人 | 1.57人 | 1.52人 | 1.43人 | 1.46人 | 1.46人 | 1.68人 | 1.58人 | 1.55人 |
| | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | ※令和5年度の数値は令和6年3月8日時点 | | | | |
| 協力員数 | 3,485人 | 3,486人 | 3,367人 | 3,384人 | 3,323人 | 3,435人 | 3,584人 | 3,685人 | | | | | |
| 一人当たり平均担当世帯数 | 1.48人 | 1.52人 | 1.57人 | 1.54人 | 1.57人 | 1.57人 | 1.72人 | 1.59人 | | | | | |



(3) 福祉除雪事業費の推移（札幌市予算額）

福祉除雪事業に係る事業費は、利用世帯の増加に伴って平成25年度以降は増加傾向にあり、令和4年度の大雪による利用世帯増に対応するため、さらに増額して計上している状況にある。

事業費については、寄付金を原資とした地域福祉振興基金を財源としているが、基金については、早晩の枯渇が懸念されているため、将来的な財源の確保が課題である。

こうした状況の中、令和5年度より国土交通省の実施する豪雪地帯安全確保緊急対策交付金（事業費全体の1/2補助）の活用を開始したが、当交付金については3年間の時限措置となっていることから、今後に向けた協力員確保のための広報費等を増強している。

| (単位：千円) | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 |
|---------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---|--------|--------|--------|
| 予算額 | 95,511 | 89,143 | 87,115 | 88,131 | 89,127 | 87,150 | 84,173 | 84,847 | 82,231 | 82,647 | 85,228 | 97,004 | 99,566 |
| (単位：千円) | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和6年度予算内訳 (単位：千円 カッコ内は前年度比) 区役所事務費：1,566 (±0) 市社協補助金：120,434 (+19,000) [社協事務費：22,972 (+6,322) 協力員活動費：97,462 (+12,368)] | | | |
| 予算額 | 99,100 | 96,000 | 96,000 | 102,000 | 96,000 | 97,000 | 97,000 | 103,000 | 122,000 | | | | |

※令和5年度予算は、上記に加え、協力員の確保に向けた広報費や協力員活動費等14,638千円を予算流用により追加している。

(4) 持続可能な事業としていくために必要な観点

福祉除雪事業を持続可能な制度としていくために、以下の観点等からの制度検証が必要と考えられる。

持続可能な事業としていくための観点

- 地域協力員を十分に確保するための対応策（広報活動、負担軽減策の検証、活動費の検証 など）
- 利用世帯の増加やニーズに対応するための対応策（利用世帯の要件の検討、除雪内容の検証 など）
- マッチング等に協力いただいている町内会等地域組織や、
実務を行う市・区社協の負担軽減策（事務フロー [参考資料2] の見直し など）

(5) 今後の社会福祉審議会地域福祉活動専門分科会の開催予定

次回開催：令和6年6月頃を予定

議 題：令和5年度の事業結果報告、今後の福祉除雪事業に係る各種推計 など

※令和6年度中に次回含め3～4回程度分科会を開催し、年度内に今後の福祉除雪事業のあり方に関する意見のとりまとめを予定。
 （可能なものについては令和6年中の事業反映についても検討）